

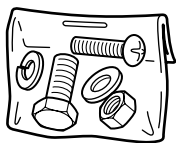
コントロールユニットの取り付け

取り付け場所

- こんな取り付け場所はお避けください。
- 運転の妨げになる所
 - 同乗者の安全を損なう所
 - グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
 - ほこりの多い所
 - 磁気を帯びた所
 - 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
 - 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- はずしたビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- はずすビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



センターコンソールやインダッシュへの取り付け

- トヨタ車、日産車、三菱車、欧州車、マツダ車、フォード車のほとんどは純正カーオーディオを外して、そのあとにコントロールユニットを取り付けられます。取り付け可能車はお買い上げ店にお問い合わせください。
- お車上記以外のときは、別売りの取り付けキットが必要です。お買い上げ店にご相談ください。
 - キズ付きや破損を防ぐため、ディスプレイ部は取り外した状態で作業してください。

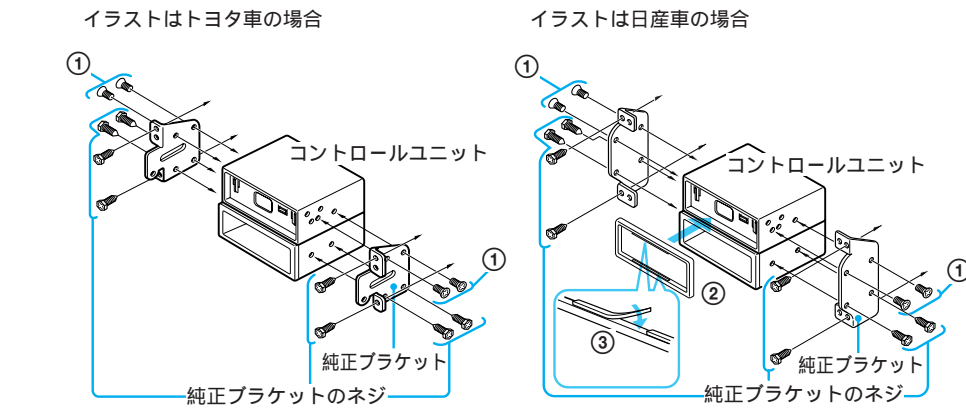
コントロールユニットをセンターコンソールなどに取り付けるときのご注意

トヨタ、スバル、ホンダ車の一部の車種において、ディスプレイ部を着脱する際に、左右両側と下側がクラスターパネルに干渉する場合があります。2DINサイズの場合は、取り付け場所を変更するか、またはクラスターパネルの加工をしてください。干渉する部分を0.5～1mm程度削ることで干渉を防ぐことができます。

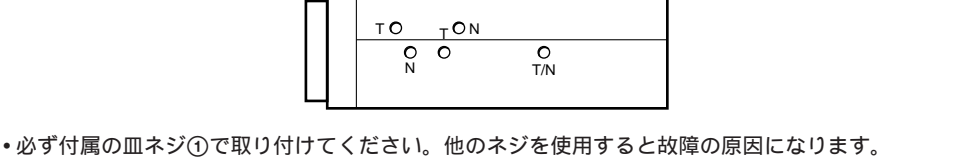
トヨタ車、日産車、三菱車に取り付ける場合

- 1 純正カーオーディオを取り外す。
センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取り外し、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、コントロールユニットを取り付けます。

- 2 コントロールユニットを取り付ける。
接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

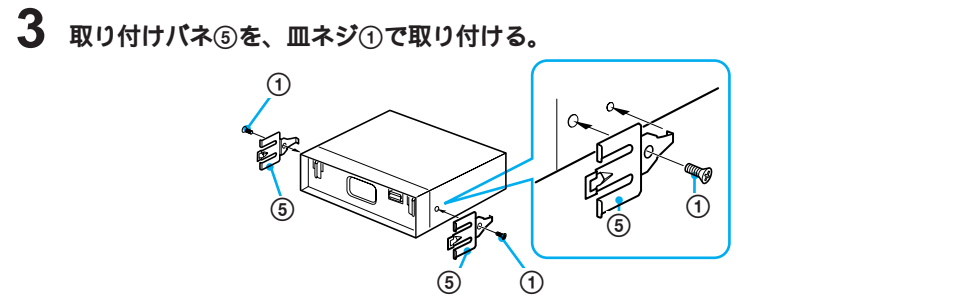
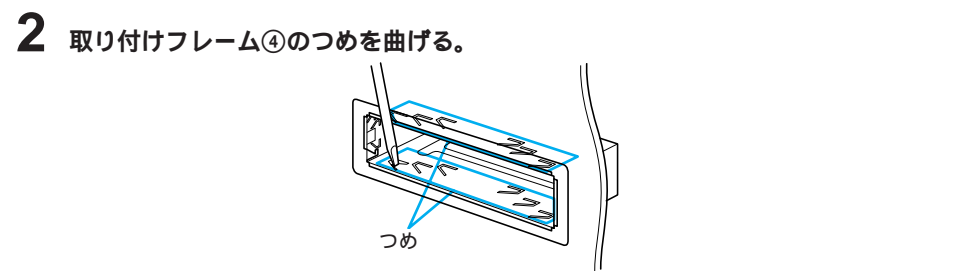
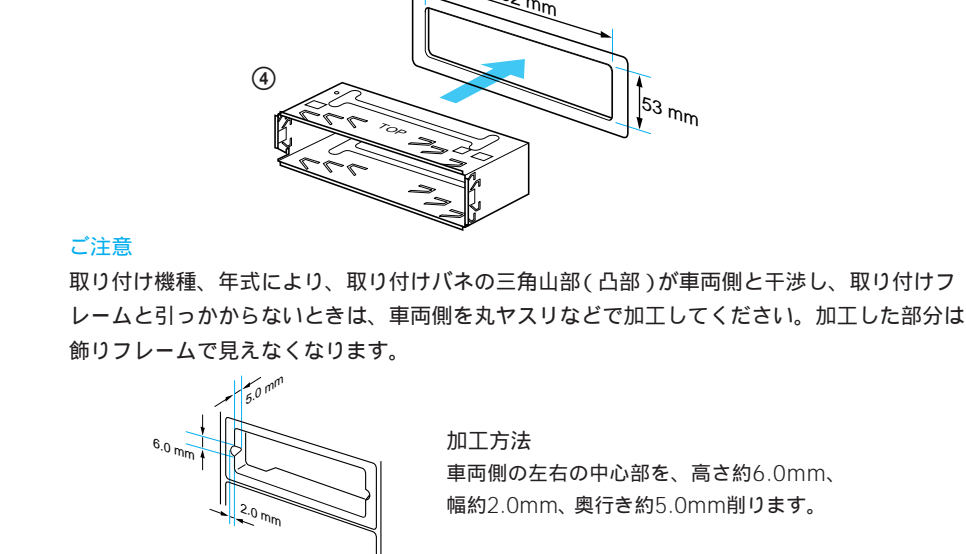


- イラストはトヨタ車の場合
- イラストは日産車の場合
- ご注意
- コントロールユニットのフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
 - コントロールユニットの上部に物をさし込まないでください。
 - 純正ブラケットをコントロールユニットに取り付けるとき、T（トヨタ車/三菱車用）N（日産車用）マークにブラケットの取り付けネジ穴を合わせて、血ネジ⑦で取り付けてください。

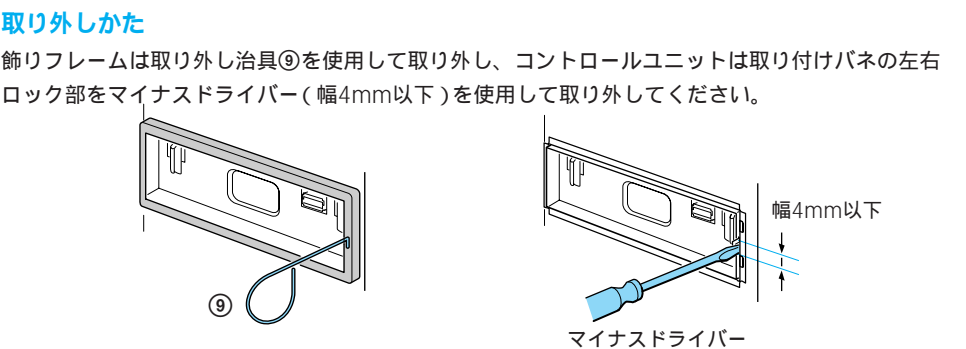
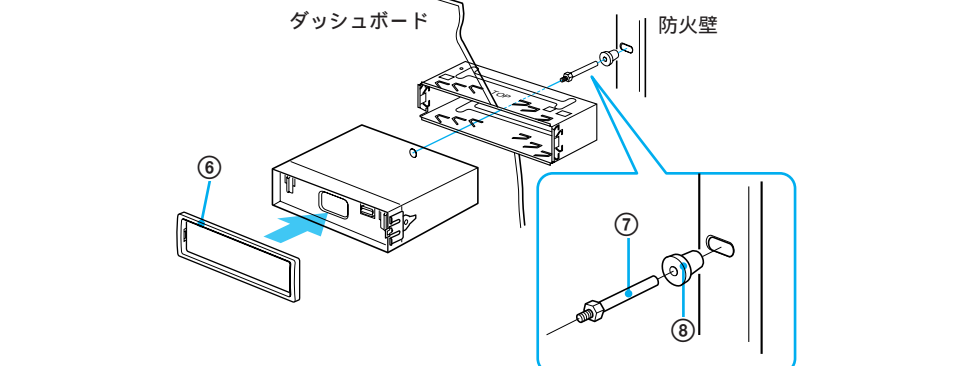


欧州車、マツダ車、フォード車に取付ける場合

- 1 TOPと刻印された面を上にして、取り付けフレーム④をダッシュボードに取り付ける。



- 4 コントロールユニットを取り付ける。
各コードを接続後、支持ネジ⑦、プッシング⑧、最後に飾りフレーム⑨を取り付けます。



ディスプレイ部をダッシュボードに取り付ける

コントロールユニットのチューナー部を分離し、ディスプレイ部をダッシュボードに取り付けることができます。

チューナー部を分割するには

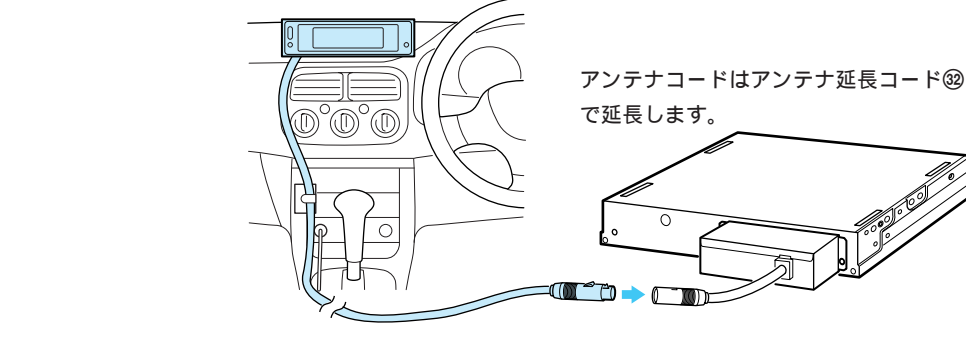
- 1 チューナー部のネジ(6本)を取り外す。
ご注意
取り外したネジ(4本)は紛失しないように保管してください。

- 2 チューナー部を分離する。
はじめに前後にずらして前面のコネクターを外し、上部を持ち上げます。
取り外したあとのコントロールユニットの上部は使用しません。

- ご注意
コントロールユニットの上部は、ビニール袋などにいれて保管してください。

- 3 コネクターボックス⑩を取り付ける。
ステップ1で取り外したチューナー部のネジ(2本)で固定してください。

- 4 ディスプレイ部とつなぐ。



- ディスプレイ部の取り付け
- 取り付ける前に
- 正しい位置に確実に取り付けを行わないと、事故の原因となり大変危険です。
助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付けてください。
- ご注意
- 不安定な取り付けは絶対にお避けください。走行中にはずれることがあり、大変危険です。
 - 電波の弱い地域では、設置場所や、取り付け方法によってノイズが発生する場合があります。以下の事項に注意して取り付けをしてください。

- 本機の接続や電源などの各ケーブルとアンテナはできるだけ離して設置してください。平行にしたり、束ねて配線すると、ノイズが発生することがあります。
 - ディスプレイ部は、アンテナからできるだけ離して設置してください。
- 特にフロントガラスアンテナを採用している車種では、アンテナから近くなるため、ノイズが発生することがあります。その場合は、ガラスアンテナの代りに別売りのロッドアンテナ（VCA-14など）を使用してノイズを防ぎます。この場合も、設置場所や配線に注意してください。

- 1 ダッシュボードの形状に合わせて、スタンド⑩を曲げる。
曲げすぎて、スタンドが浮かないようにご注意ください。

- 2 クリーニングクロス⑬で取り付け面の汚れを取る。

- 3 両面テープ⑮のはくり紙をはがし、貼り付ける。

- 4 固定用ネジ⑯で固定する。
ご注意
取り付けた状態でネジの先端がダッシュボード内部の配線などに当たっていないことを確認してください。

- 5 スタンドカバー⑬を接着する。

- 6 ディスプレイホルダー⑭背面のみぞにスタンドのネジを差し込み、高さを決める。
車の振動によるぐらつきを防止するため、ホルダーの底面がダッシュボードにあたるように高さを調整してください。調整後はネジを締めて固定します。

- 7 レバーをゆるめて角度を調節する。
調節後はレバーをしっかり締めて固定します。

- 8 プレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確かめる。

- 9 必ず、ディスプレイ部、ディスプレイホルダー部、またはロータリーコマンダー取り付け台のリセットボタンをボールペンの先などで押す。
針のようなもので強く押すと故障の原因となります。

- 4 ディスプレイ部を取り付ける。

取り付け / 接続部品



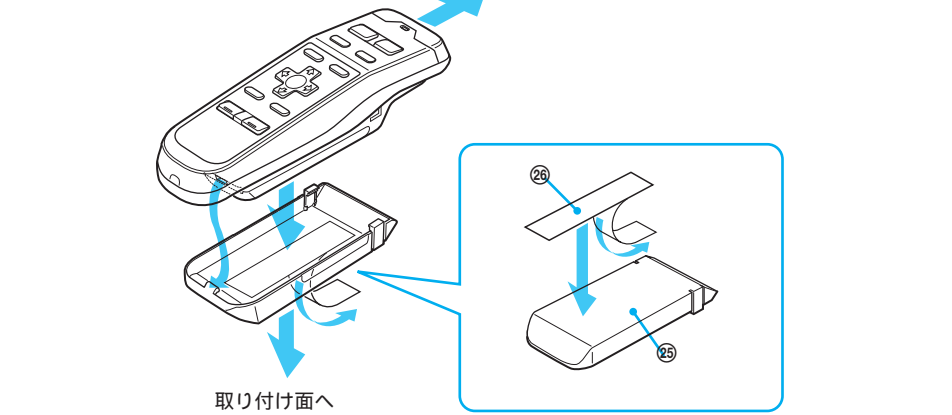
ワイヤレスリモコンの取り付け

取り付け位置のポイント

- シフトレバーの脇などの運転の妨げにならない場所に固定してください。
- ご注意
- 次のような場所への取り付けは避けてください。
- シフトレバーや、サイドブレーキなどの操作の妨げになること。
 - 運転席、助手席のシートの前後、上下など可動部の妨げになること。



- 両面テープで取り付け
クリーニングクロス⑬で、取り付け面をきれいにしてから取り付けてください。



- ご注意
- 直射日光下ではリモコンの信号が受信されにくくなることがあります。このようなときは、受光部にリモコンを近づけて操作してください。
 - リモコンはダッシュボードの上やハンドルの上など、直射日光の当たる場所に取り付けてないでください。熱により、リモコンが変形するおそれがあります。
 - 直射日光の当たる所に車を停車させるときは、リモコンをグローブボックスの中など直射日光の当たらない所に保管してください。

SONY

デジタルリファレンスサウンドシステム

取り付けと接続

- お買い上げいただきありがとうございます。
- 警告**
- 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

XES-Z50

Sony Corporation ©1996 Printed in Japan

警告 安全のために

- 警告表示の意味
- 「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。
- 警告**
- この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意**
- この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。
- 注意を促す記号
- 火災 感電
- 行為を禁止する記号
- 禁止 分解禁止

警告 安全のために

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない
車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。

パイプ類、タンク、電気配線などを傷つけない
火災の原因となります。車体に穴を開けて取り付けるときは、パイプ類、タンク電気配線などの位置を確認してください。

助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け
動作の妨げになる場所に付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

雨、水がかかる場所、湿気、ほこりの多い場所には取り付けない
上記のような場所に取り付けると、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない
火災や感電、事故の原因となります。電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源を取ると、リード線の電流量を超過してしまいます。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

分解禁止

規定容量のヒューズを使う
ヒューズを交換するときは、必ず電源コードのヒューズケースまたはCDチェンジャー底面に記された規定容量のアンペア数のものをお使いください。規定容量を超えるヒューズを使うと、火災の原因となります。



注意

下記の注意を守らないとけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付け
他の部品を使うと、機器の内部を傷つける。しっかり固定できないで、火災やけがの原因となることがあります。

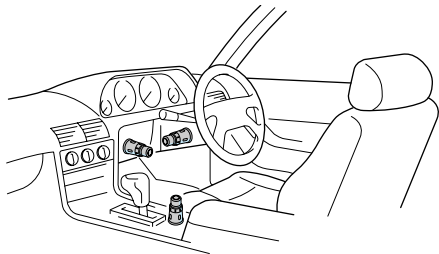
安定した場所に取り付ける
振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

ブラケットの取り扱いに注意する
取り付けフレーム、取り付けバネを取り付けるとき、エッジ部分に注意してください。手を切るなどのけがの原因となることがあります。

ロータリーコマンドーの取り付け

(例：ステアリングコラムカバーに取り付ける場合)

取り付け場所の例



ご注意

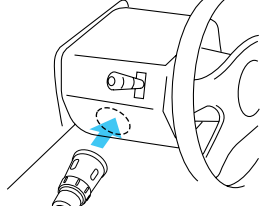
- 運転の妨げにならない場所(ハンドル操作やレバー操作に影響のない場所)に取り付けてください。
- 同乗者の安全を損なうおそれのある場所には取り付けないでください。
- 取り付けるとき、車の配線コードなどを傷つけないよう十分注意してください。
- 直射日光や、ヒーターの熱風が当たるなど高温になる場所には取り付けないでください。
- 取り付け場所が平面であることを確認してください。

ロータリーコマンドー本体から取り付け台を外すには

RELEASEボタンを押しながら本体を右に回し、手前に引きます。

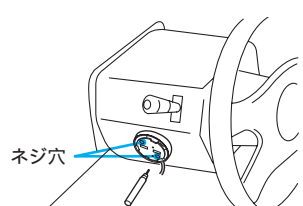
- 取り付け場所を決め、取り付け場所の表面をきれいにする。

ごみや油などが表面に付着していると両面テープの接着力が低下します。



- 取り付け場所にネジ穴用の印を付ける。

印を付けるには、ロータリーコマンドーの取り付け台にあるネジ用の穴を使います。



接続図(3Way Systemの場合)

ショート事故を防ぐために

作業中のショート事故防止のため、電源コード(下図の赤色コードと黄色コード)の接続は、取り付け作業の最後に行うか、バッテリーのマイナス端子をはずしてから行うようにしてください。ただし、ドライブコンピュータやナビゲーションコンピュータを取り付けた車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

アンテナブースターの接続

ウィンドアンテナがついている車種によっては、アンテナブースターに電源を供給する必要があります。この場合は青色の電源コードをアンテナブースターに交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

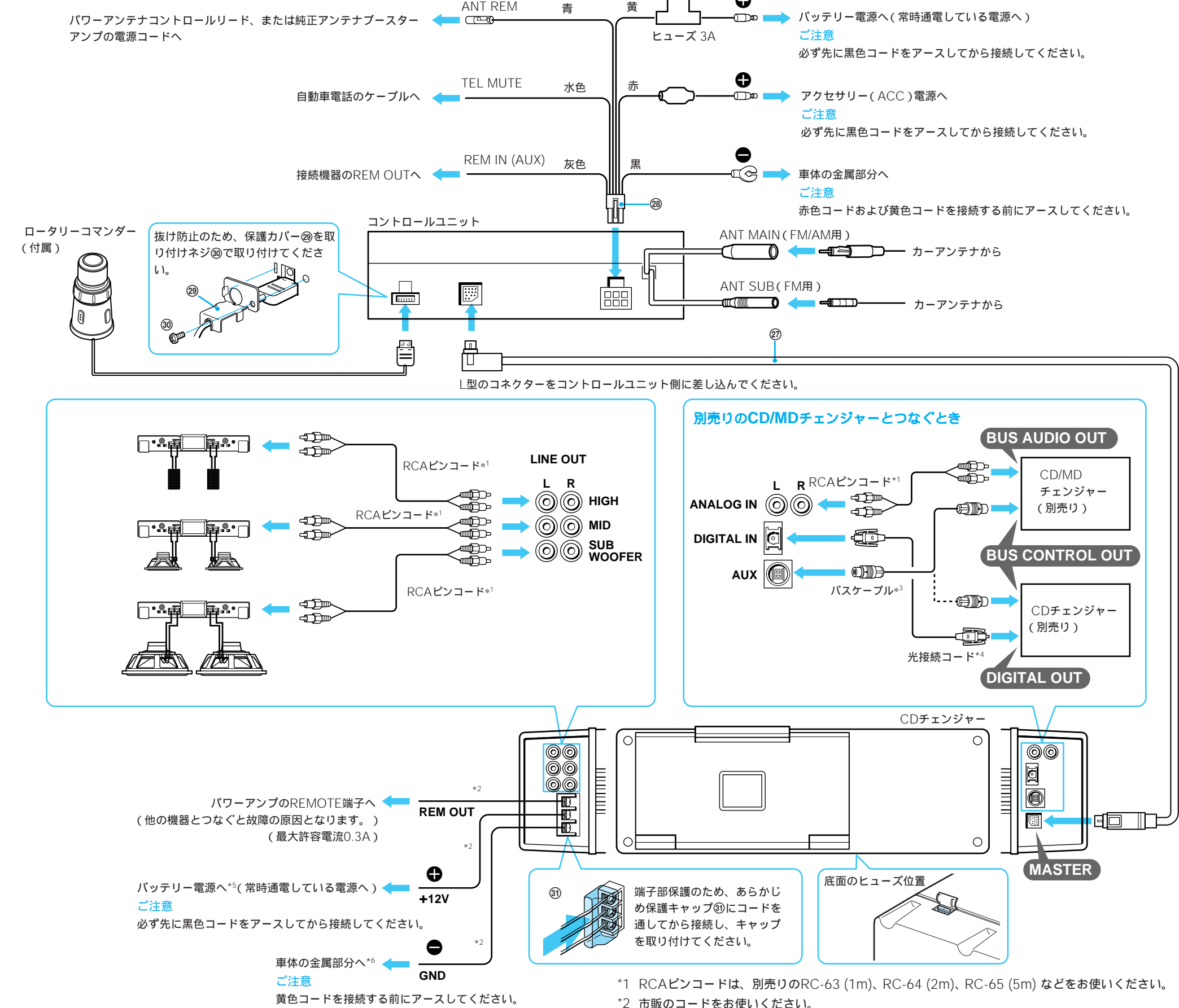
パワーアンテナをお使いになる場合

コントロールユニット裏面から出ている青色の電源コードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、ACC ONにしたときにパワーアンテナが自動的に出ます。

ヒューズ

- CDチェンジャー底面および電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- 電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側(純正ラジオ用バックアップ電源)のヒューズ容量以下であることを確認してください。また、アンプなどを使用したシステムで使用する場合は、総ヒューズ量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合は、バッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じたとき、車両のヒューズが先に切れ、他の機器が機能しくなります。

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。



CDチェンジャーの取付け

取り付け位置のポイント

- ドアの開閉やディスクマガジンの出し入れができることを確認してください。
- 取り付け場所が平面であることを確認してください。

ご注意

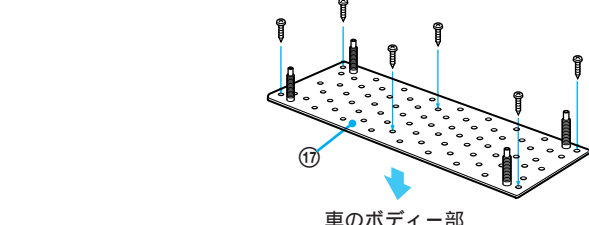
次のような場所への取り付けは避けてください。

- 温度が55℃以上になるところ
- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
- 雨が吹き込むところなど、水がかかるところや湿気の多いところ
- ほこりの多いところ
- しっかりした取り付けのできない振動の多いところ
- 配線コードやパイプが下を通っているところ
- トランク内またはトランク下にあるスペアタイヤ、その他の備品などを備つけるおそれのあるところ

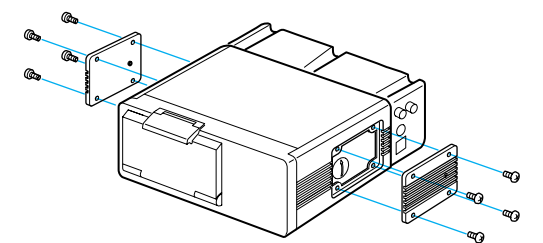
横置きの場合

- 取り付けボード⑦を車体に固定する。

取り付け強度確保のため、下記のように取り付けネジ⑩をボードの6点で締めてください。



- 両サイドのカバーの取り付けネジ(8本)を外す。

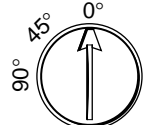


ご注意

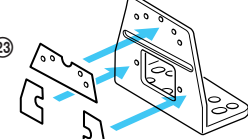
取り外したネジ(8本)は紛失しないように保管してください。

- コインなどでダイヤルを「0°」の位置に合わせる。

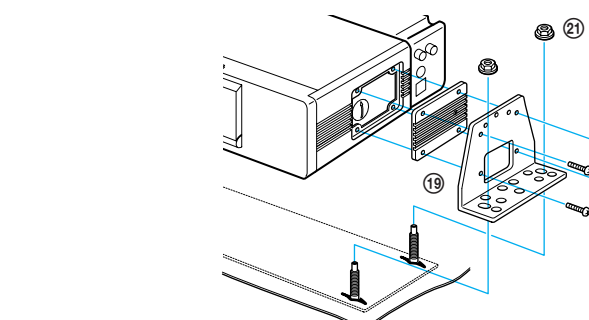
工場出荷時は、「0°」です。



- 保護シールを貼り付ける。



- 取り付けネジ⑩を使ってブラケット⑨を取り付け、ナット⑫で固定する。



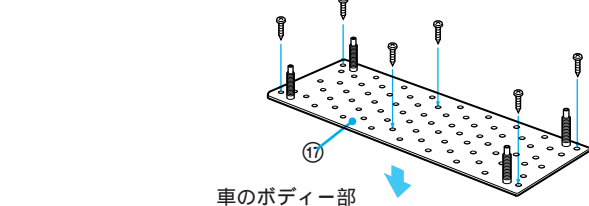
ご注意

ブラケット⑨を取り付ける前に、必ず電源コードなどの接続をしておいてください。

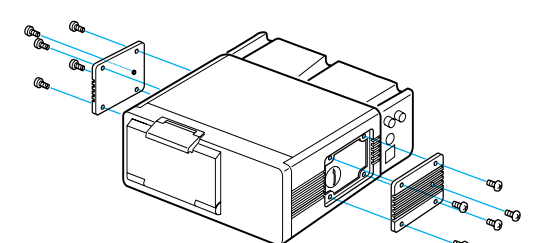
縦置きの場合

- 取り付けボード⑦を車体に固定する。

取り付け強度確保のため、下記のように取り付けネジ⑩をボードの6点で締めてください。



- 両サイドのカバーの取り付けネジ(10本)を外す。

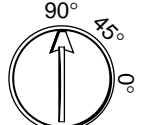


ご注意

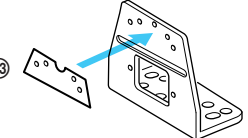
取り外したネジ(6本)は紛失しないように保管してください。

- コインなどでダイヤルを「90°」の位置に合わせる。

工場出荷時は、「0°」です。

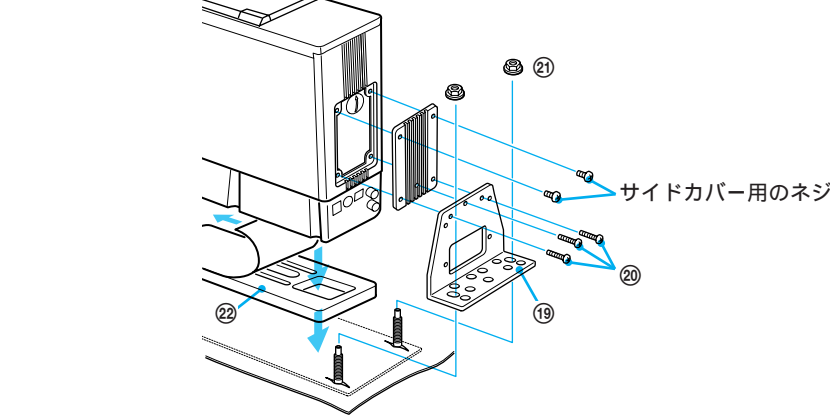


- 保護シールを貼り付ける。



- ステップ2で取り外したサイドカバー用のネジ(両サイド各2本)と、取り付けネジ⑩(両サイド各3本)を使ってブラケット⑨を取り付け、ナット⑫で固定する。

取り付けボードと接するCDチェンジャーの底面に、ウレタンシート⑬を貼ってください。



ご注意

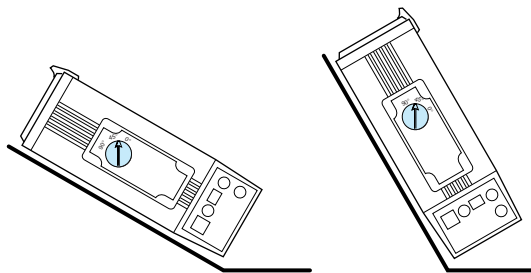
ブラケット⑨を取り付ける前に、必ず電源コードなどの接続をしておいてください。

傾斜のあるところに取付ける場合は

CDチェンジャーを取り付けたとき、ダイヤルの矢印を地面に対して垂直方向に近い目盛りに合わせてください。

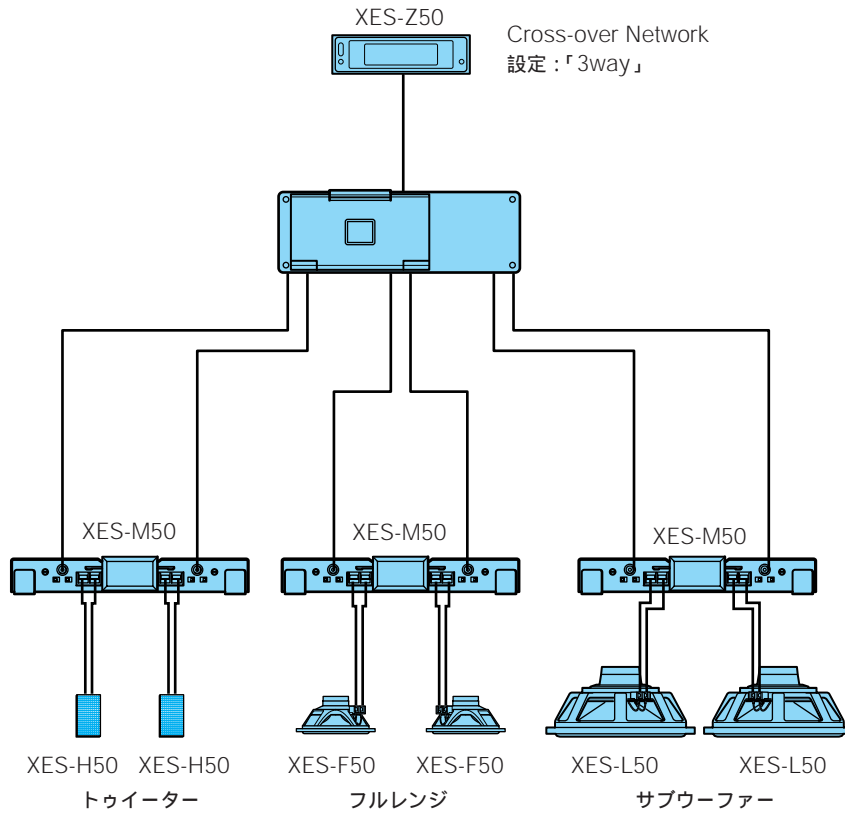
ご注意

左右のダイヤルの矢印は、必ず同じ位置の目盛りに合わせてください。

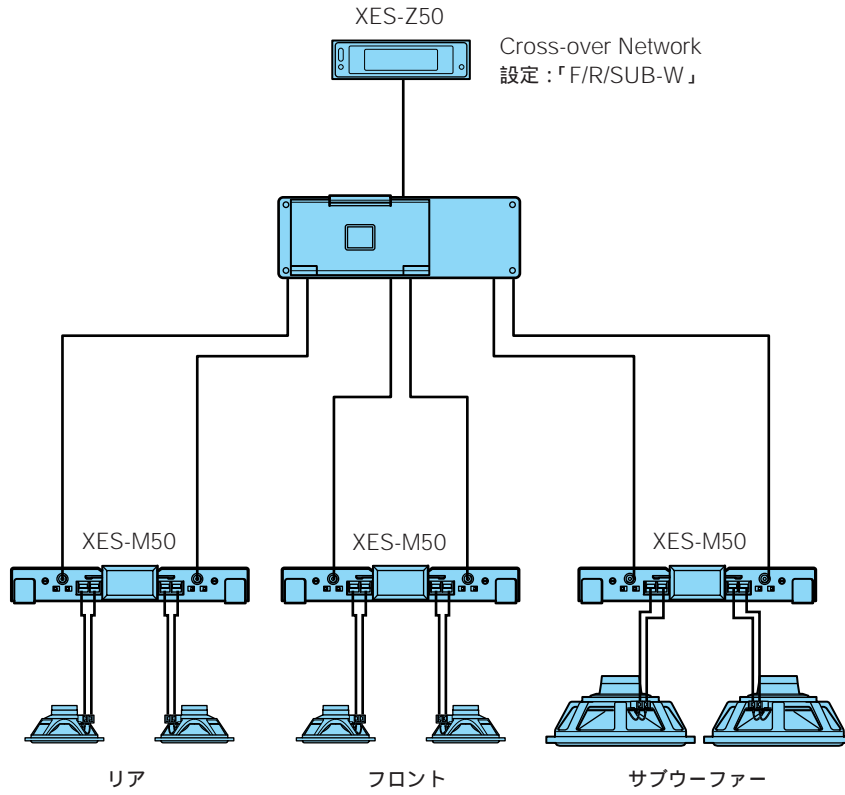


システム接続例

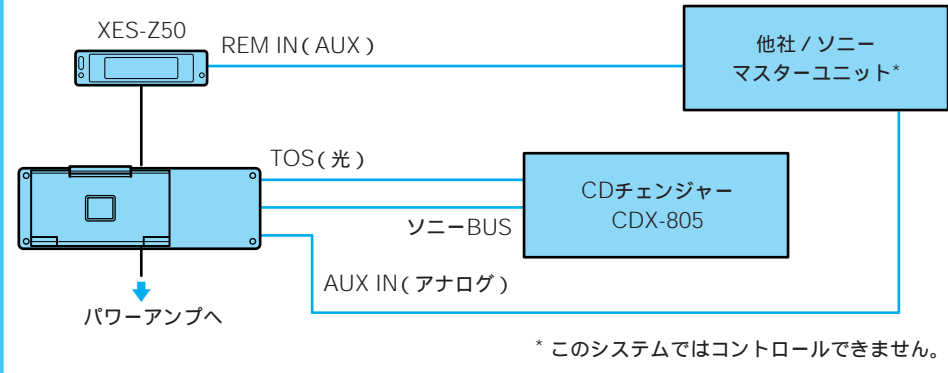
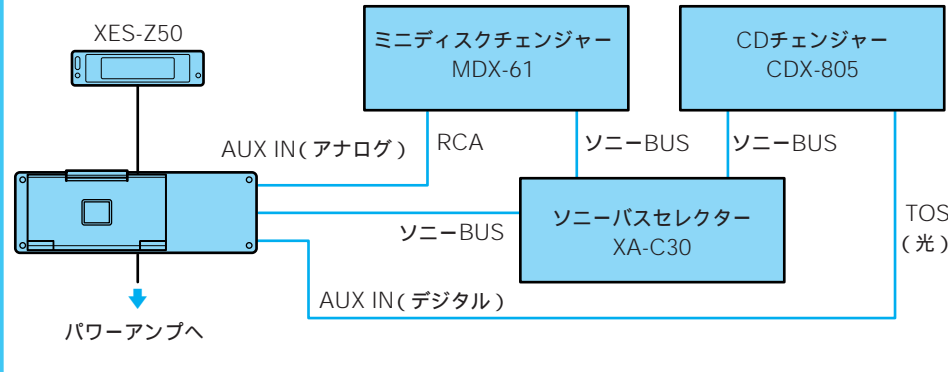
3Wayシステム



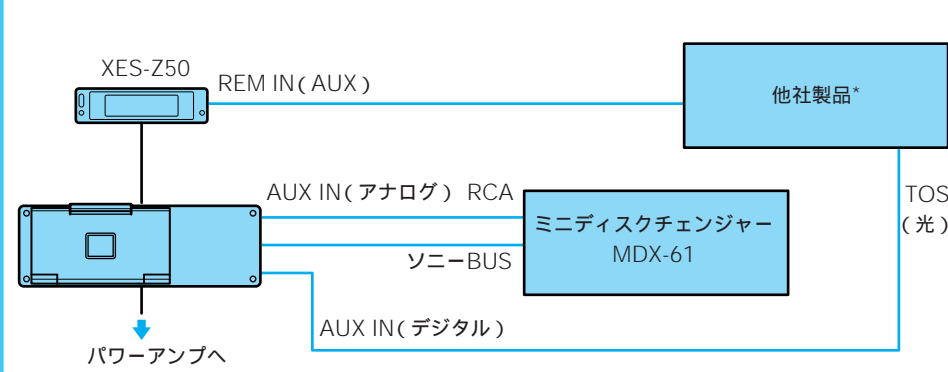
F/R/SUB-Wシステム



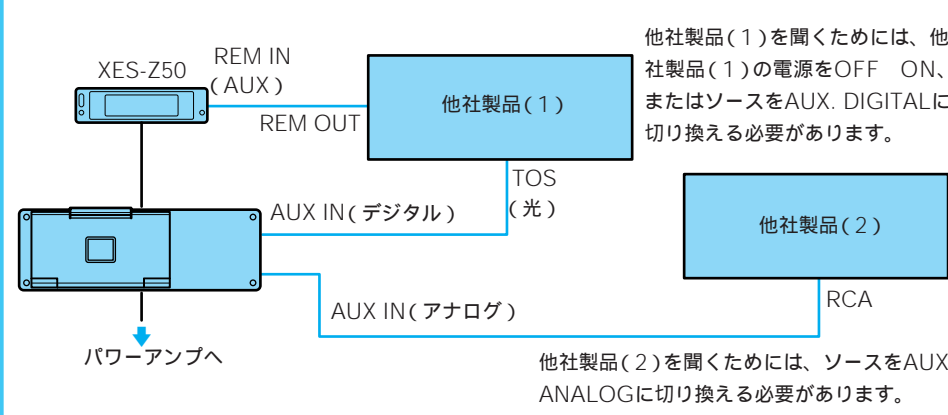
その他のシステム例



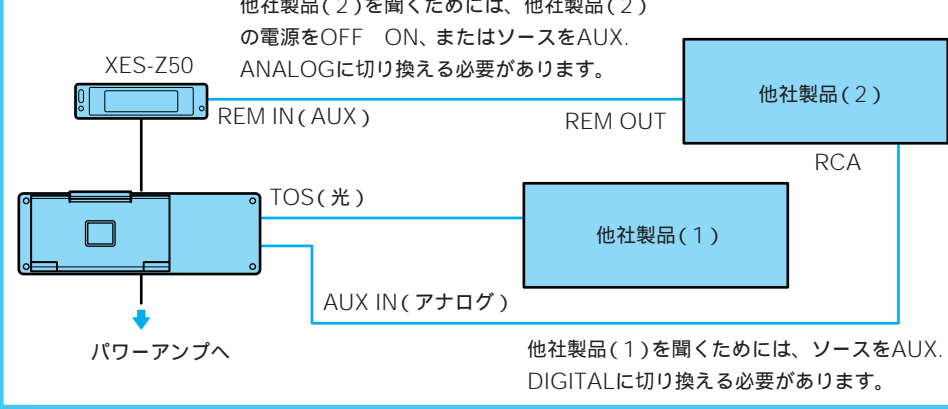
* このシステムではコントロールできません。



* このシステムではコントロールできません。



他社製品(2)を開くためには、ソースをAUX. ANALOGに切り換える必要があります。

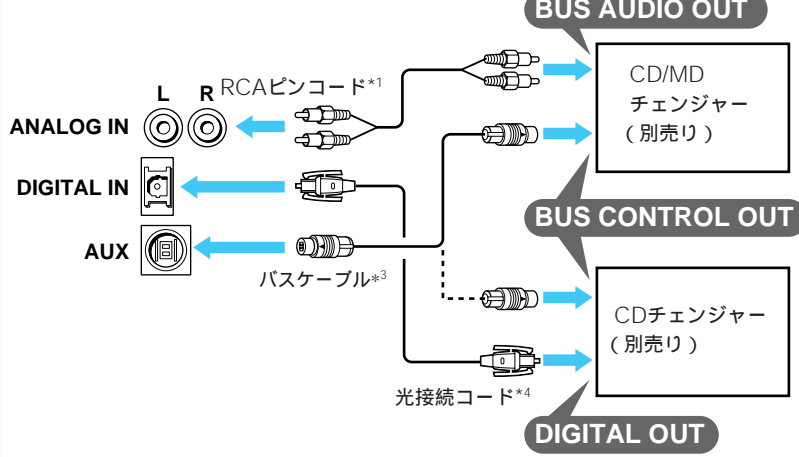


他社製品(1)を開くためには、ソースをAUX. DIGITALに切り換える必要があります。

電源コードの色分け

赤色コード	アクセサリ(ACC)電源入力コード 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)に接続します。
黄色コード	動作電源入力コード 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード 車体の金属部分に確実にアースしてください。
青色コード	・パワーアンテナのコントロール用 コントロールユニットのスイッチを入れたときに、このコードから12ボルトのコントロール用電源を供給します。くわしくはお手持ちのパワーアンテナの説明書をご覧ください。 ・純正アンテナブースターアンプの電源供給用 ご注意 リレーボックスの付いていないパワーアンテナは使用できません。
水色コード	自動車の電話のケーブルへ 自動車電話に接続するとき使用します。詳しくは、お手持ちの自動車電話の説明書をご覧ください。
灰色コード	接続機器のREM OUTへ ソニーまたは他社製品を接続するとき使用します。

別売りのCD/MDチェンジャーとつなぐとき



- RCAピンコードは、別売りのRC-63(1m)、RC-64(2m)、RC-65(5m)などをお使いください。
- 市販のコードをお使いください。
- 別売りのCD/MDチェンジャーに付属のソニーバスケーブルをお使いください。
- 光接続コードは、別売りのRC-97(2m)、RC-98(5m)などをお使いください。
- 車のバッテリーから直接電源をとる場合、使用するコードは8ゲージ(AWG-10、断面積5mm²)以上のコードを使用し、可能な限りバッテリー電源に近い位置に必ずヒューズ(3A~5A)を配置してください。
- 使用するコードは8ゲージ(AWG-10、断面積5mm²)以上のコードを使用してください。